

山口県岩国市を流れる錦川に架かる国の名勝、錦帯橋は、2008年より夜間ライトアップが行われてきましたが、2021年の春、LED投光器によるフルカラー演出を導入。夜の間に幻想的に浮かび上がる艶やかな姿が、錦帯橋の新たな観光価値を生み出しました。

国の名勝「錦帯橋」は、5連の木造アーチ橋という、世界唯一の構造になっています。これは「流されない橋を作りたい」という先人たちの情熱と、独自に発展した架橋技術によって生み出されたものです。現代においても、その技術は高く評価されています。1673年の創建当時より変わらない構造が、訪れる人々を魅了しています。2008年からは夜間ライトアップも行われ、2020年には日本夜景遺産にも認定されました。



【物件概要】
所在地：山口県岩国市岩国
全長：193.3m
形式：5径間木造アーチ橋
施主：岩国市
設計：岩国市
施工：電気/東芝ライテック(株)
リニューアル完成：2021年3月



ライトアップ試験風景 3台1組のフルカラーLED投光器①②の光色を1台ごとに変えて3色固定する演出プログラムを設定。

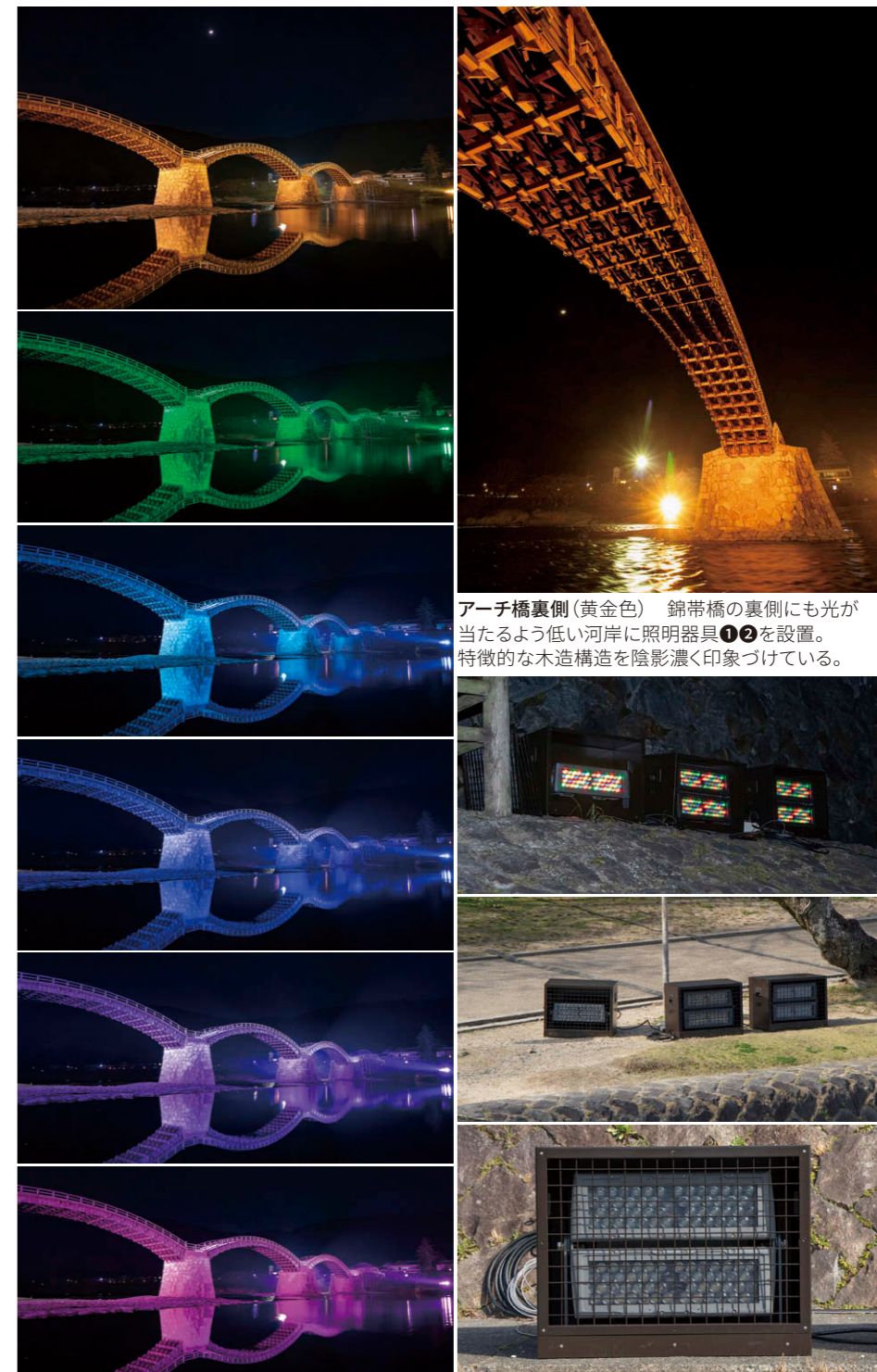
色数や点灯時間、変化順などをプログラムとして記憶し、夜の錦帯橋に多彩な表情を演出。

錦帯橋のライトアップは2008年に始まり、黄金色に浮かび上がるその美しい姿は、2020年にライトアップ夜景遺産に認定されました。既設のライトアップ器具は、照明ボックスフィルター付きの250Wセラミックメタルハライドランプ投光器で、2台ずつ、橋を挟んだ河岸4カ所に設置されていました。

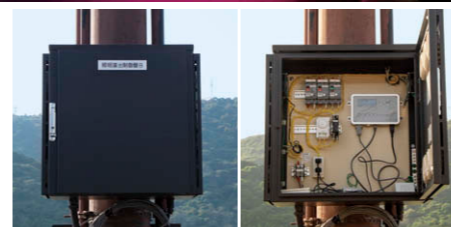
この度のリニューアルでは、高出力の4色光源タイプフルカラーLED投光器を3台ずつ4カ所に設置。オフシーズンや増水時にすばやく撤去できるように特注照明ボックスに納めるとともにコネクタ接続方式を

採用。設置の安定性を確保するため、ボックス四隅に角度調整用の穴開け加工を施しています。

演出内容は、事前に配合したカラーをベースに季節や時間などテーマに合わせて設定した8つの演出プログラムから選択。春であれば桃色、黄金色、緑色の3色を10分点灯し1分かけて変化させるパターンで、日没点灯から21時まで繰り返し、その後22時の消灯まで黄金色固定でライトアップします。また、世界糖尿病デーは青色固定というように、特別な日にはテーマ色固定でライトアップする設定も用意しています。



アーチ橋裏側(黄金色) 錦帯橋の裏側にも光が当たるよう低い河岸に照明器具①②を設置。特徴的な木造構造を陰影濃く印象づけている。



データ信号機盤 演出プログラムを記憶しLED照明を制御する主装置iPlayer3を内蔵。

ライトアップカラー RGB数値にて9色を設定し、白色は自動配合。上から黄金色、緑色、水色、青色、紫色、桃色、この他に赤色、朱色、薄紫色を設定。テーマに合わせて色選択した演出プログラムにより、シームレスに色変化する演出を実現。100~10%で全体調光も可能。

設置状況 河岸4カ所に3台1組で計12台設置したLED演出照明器具(上中①②、下①)。5度×17度オプションレンズ付きで、設置/撤収がしやすいように特注照明ボックスに収納。

主な掲載器具一覧			
設置場所	器具名(品種名)	台数	備考
屋外	①フルカラーLED演出照明機器(カラーキネティクスブランド) ColorReach Powercore gen2 RGBW 特注照明ボックス付き	8	消費電力:270W
	②フルカラーLED演出照明機器(カラーキネティクスブランド) ColorReach Compact Powercore gen2 RGBW特注照明ボックス付き	4	消費電力:135W